

# 脳情報デコーディング

～脳を介した情報通信の実現を目指して～

## 概要

ヒトの知覚や意図、心理状態などを脳活動から予測する脳情報デコーディング技術を開発し、この技術を利用した脳機能の解明を進めると同時に、身体運動や発声を介さない新たな情報通信技術の確立を目指します。

## 特徴

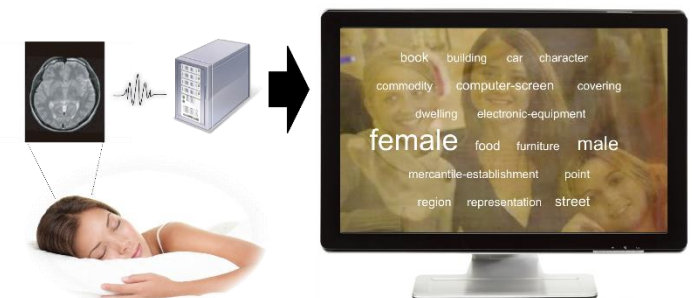
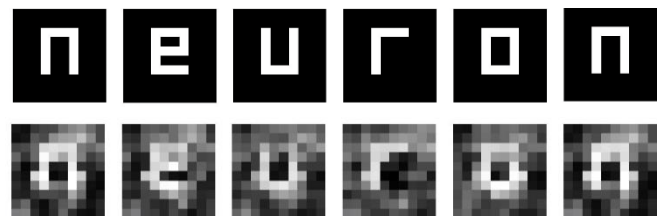
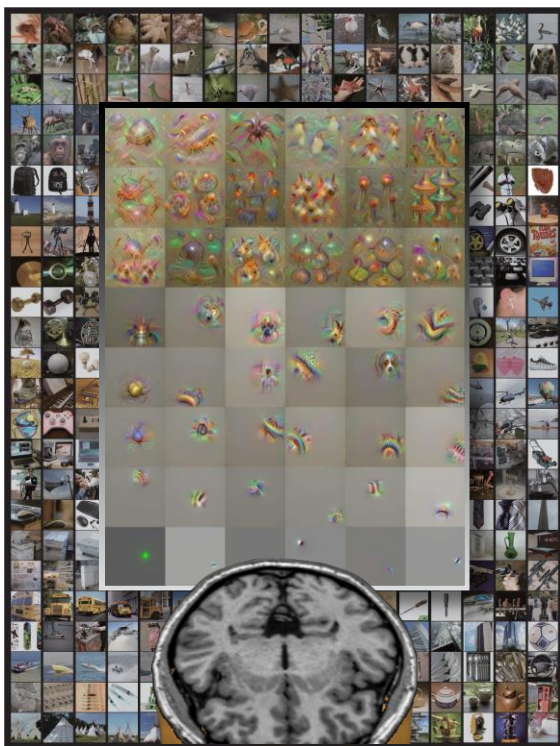
- 刺激や課題を与えたときの脳活動をマッピングする従来の方法とは逆に、脳活動から情報を解読(デコード)するアプローチです。
- 非侵襲計測からでも詳細な脳内情報表現の解読を可能にする技術です。
- 見ている物体の形だけでなく、知覚・想像している物体や夢に現れる物体カテゴリーを解読することに成功しました。

## 今後の展開

- 多様な心の状態を解読する高精度アルゴリズムを開発し、高次の認知機能や主観的心理状態の解読を行います。
- 解読結果を利用するアプリケーション、およびインターフェースの開発を進めます。

## 対コロナへの関連

- 脳を介した情報通信の実現により、遠隔地とのコミュニケーション手段の幅が広がります。



連絡先:脳情報研究所 担当 神谷之康 E-Mail:dni-info@atr.jp